

令和4年

季刊

新春号

Vol.80

亞東



協会役員 謝長廷閣下を表敬訪問（令和4年1月24日）



一般社団法人日本台湾親善協会

Japan-Taiwan Friendship Association

一般社団法人日本台湾親善協会の概要

名称 一般社団法人日本台湾親善協会

(英文名) Japan-Taiwan Friendship Association)

事務所 東京都千代田区平河町二一七-四 砂防会館別館

二階

(必要に応じ支部を設ける)

目的 会員相互の親睦並びに民主主義と自由を信条と

する日本と台湾との相互理解と交流を促進して

日本と台湾との関係強化と発展に寄与する。

事業

① 日本と台湾との政治、経済、文化に関する調査研究及び講演会、研究会の開催並びに研究資料の出版

② 日本と台湾との文化、芸術の相互の紹介

③ 日本と台湾との経済協力の推進に必要な情報の収集及び斡旋

④ 我が国に在住する台湾関係者及び在日留学生に対する交流事業

⑤ その他本会の目的を達成するために必要な事業

日本台湾親善協会の変遷

社団法人日本台湾親善協会は、民主主義と自由経済を信条とするアジア人同志の交流を深める目的で一九四九年、東京に設立された『華南倶楽部』が発祥です。第二次世界大戦後の激動の時代でしたが、会員はひたすらアジアの平和と繁栄を希求し、友愛と信義を基調とした国際関係の樹立に努力を続けて参りました。その結果、この趣旨に賛同する有識者が次第に増加し、活発な活動とともに組織拡大の一途を辿りましたが、一九七二年の日中共同声明は、アジアの政治情勢のみならず、在日アジア人の日常にも大きな変化をもたらしました。

その前年即ち一九七一年、千葉三郎先生(衆議院議員)は、倶楽部を強化発展させる必要を痛感し、岸信介先生、福田赳夫先生、灘尾弘吉先生らと諮り、留日華僑有志の方々が協力され、自ら発起人となり同年五月二九日外務省認可『社団法人亜東親善協会』を設立致しました。

千葉先生の引退後、原文兵衛先生が参議院議長の要職のまま会長に就任され、その後、永年衆議院で活躍された藤尾正行先生が会長を引き継がれ、二一世紀の幕開けとともに玉澤徳一郎先生が会長を務められました。

二〇一二年一月六日、「一般社団法人及び一般財団法人の認定等に関する法律」の施行に伴い一般社団法人としての認可申請が受理され、二〇一三年四月一日より一般社団法人として再スタートいたしました。

日本を含むアジア諸国は、世界の経済に大きな影響を与える程に成長しました。かかる情勢の中、二〇一二年五月、元内閣総理大臣安倍晋三先生を会長にお迎え致しました。同年一月安倍政権が発足、会長の内閣総理大臣復帰に伴い退任され、会長代行の大江康弘参議院議員が就任、二〇一八年五月からは元衆議院副議長の衛藤征士郎先生が会長に就任されました。

日本と台湾との友好交流を発展させ関係の強化を図り、アジアの繁栄と平和に貢献するため二〇一八年九月に名称を「日本台湾親善協会」に変更しました。会員一同、会長のもと、叡智を結集し努力を続けています。

季刊「亜東」令和四年 新春号・目次

一般社団法人日本台湾親善協会・概要・変遷	二頁
目次・協会役員名簿	三頁
会長新年のあいさつ	四頁
二〇二二年 謝代表 元旦祝辞	五頁
二〇二二年 新年の挨拶	七頁
日本台湾親善協会 業務執行理事	
日本中華聯合總會 会長 朱(笹岡)恭亮	
理事会(研修会)開催	
↳蔡明耀 駐日副代表が講演	八頁
「最近の台湾情勢」	九頁
台北駐日経済文化代表処	
副代表 蔡明耀	
トピックス	一三頁
謹賀新年名刺広告	一四頁
事務局だより	一九頁

令和3年5月24日 現在

役員名簿

名誉会長	玉澤徳一郎								
会長	衛藤征士郎								
副会長	山本順三	張岩田	建国善信	張	碧華				
専務理事	赤松則宏								
業務執行理事	藤山雅康	笹岡	恭亮						
理事	21名	張谷	建国彦	張藤山	碧華康	山本山	順三茂	並木正	藤野雅
		崎森	秀彦	藤山城	雅光	益山	有里	伊野	金子
		明石	康郎	岩田	英信	本多	忠貴	加藤	万寿
			散人					藤	夫
									光
									淑
監事	2名		李	ハロルド		鈴木	慶一		
事務局			崎谷	秀彦					
			李	孔晔					

一般社団法人 日本台湾親善協会

会長新年のあいさつ

日本台湾親善協会 会長

衆議院議員 衛藤 征士郎



二〇二二年の新年を心から祝福申し上げ、会員の皆様、ご家族皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。

令和四年、本年が災害の無い穏やかな一年と成ることを念じ上げます。

日本台湾親善協会の各会員一人一人が明確な指針を以って、会員としての役割を担い積極的に活動され、高い評価を受けていることを誇りに存じます。

年頭にあたり、諸先輩の方々が築いてこられた輝かしい業績と功績に対して、改めて敬意を表し、衷心より感謝の誠を捧げ

ます。

新型コロナウイルスの感染が沈静化し、終息することを念じて、万全の対策を取らなければなりません。

扱て、本年は激動の一年に成る予感が致します。米中の対立激化、中国の台湾への攻勢、ロシアのウクライナへの干渉等々、極めて不安定、不確実、不透明の胎動が顕在化するでしょう。

特に中国と台湾の動向は緊迫し、日本台湾親善協会にとって最大の関心事であります。

私達、日本と台湾は、アジアに於ける自由、人権、法治、平和の開かれた議会制民主主義の国として、その重責を担い懸命の努力をして参りました。日本と台湾の存立、存在は真にアジアの自由主義諸国の礎石（キーストーン）であります。私達は日台の不動にして盤石の関係を構築することが、アジア諸国、延いては世界の平和と安定に大きく資することを確信しています。

本年も私達の協会が、日台の発展と相互互恵に最善を尽くす決意をお誓いして、新年の挨拶と致します。

二〇二二年 令和四年 新春

二〇二二年 謝代表 元旦祝辞

台北駐日経済文化代表処

駐日代表 謝 長廷



明けましておめでとございます。新年を迎え、皆様がますますご清栄でありますことをお慶び申し上げます。

昨年も世界は新型コロナウイルス感染症の影響が続き、台湾と日本の人的往来も制限されたままの一年でしたが、感染状況もようやく落ち着き、台湾も日本も社会活動が戻りつつあります。今年こそは再び自由な往来ができるようになることを期待しています。

昨年、台湾で新型コロナウイルス感染が急拡大したとき、日本政府は六回にわたり合計四二〇万回分余りの友情のワクチンを台湾に提供し、これは台湾にとり「恵みの雨」となりました。台湾もマスクや酸素濃縮器などの医療物資を「お返し」として日本に届けました。このように台日間の「善の循環」により、両国の友情はますます深まっています。

今年新型コロナウイルスからの克服ならびにコロナ後の世界の復興について、すべての国々が協力していかなければなりません。しかし、台湾は中国の妨害により世界保健機関（WHO）や国連関係機関などに参加できない状態にあります。そのような中、日本では台湾のWHO参加を支持する決議が次々と採択され、これまでに三七都道府県議会が同決議を可決し、昨年六月には参議院が台湾のWHO参加支持決議を全会一致で可決しました。日本の皆様の支持に感謝を申し上げるとともに、今年に参加実現に向けて引き続き共に行動していきたいと存じます。

民主主義社会である日本は地方レベルの草の根の民意が自然な形で国レベルにも反映されます。これは私が地方交流を重視している最大の理由です。これまで台日地方自治体間には一四〇件の友好協定が結ばれ、この半数以上は私の在任中に締結されたものです。昨年は鹿児島県、山口県、京都市などが台湾の地方自治体とオンラインで協定締結式を行い、往来が不自由な



した。先月末には、市町村長レベルの「日台共栄首長連盟」の設立大会が開催され、今後ますます地方から台湾との強固な関係構築に向けて積極的に動き出すこととなります。

これらの基礎を踏まえ、今年は台日のさまざまなレベルで実際の相互訪問を再開し、観光、経済、文化、教育などに加え、防疫、防災、安全保障などについても具体的な交流協力を推進してまいりたいと存じます。

このような動きは、未来の台日友好関係の発展に寄与することと確信しています。台湾と日本は自由、民主主義、人権を重視する共通の価値観を持つ信頼できる友人です。一〇〇年先を

中でも交流を積極的に深めています。また、「日台交流サミットin神戸」で採択された「神戸宣言」では、CPTPP（環太平洋パートナーシップ協定に関する包括的及び先進的な協定）に加入申請した台湾の加盟に向けて日本による働きかけを強化することが提言されま

見据え、今後も協力を深め、新しい時代を共に切り開いていくことを期待しています。本年が皆様にとり、よい一年となりますようお祝い申し上げます。

【台北駐日経済文化代表処 二〇二二年元旦】



二〇二二年 新年の挨拶

日本台湾親善協会 業務執行理事

日本中華聯合總會 会長 朱(笹岡)恭亮



新年 明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健かな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

私は日本台湾親善協会の理事を務めさせていただいており、ですが、昨年の七月に「日本中華聯合總會」第三十九期の会長に就任いたしました。前会長であり日本台湾親善協会の理事でもある林月理女史を引き継ぎ、新任の会長になりました。「日本中華聯合總會」は日本に存在する華僑が組織する全国二十八地区の華僑団体の連合組織です。私は華僑の二世ですが、私が中学生の頃の一九七二年に残念なことに中華民國台湾は日本との

国交が断絶されました。政治的な外交上の事が要因でしたが、私の父をはじめ、多くの華僑たちが落胆する姿が今でも強く記憶に残っています。それから今年で五十年となりますが、その間、私達華僑の先人達をはじめ中華民國台湾を支持して、くださる多くの日本の方と日本と中華民國台湾の交流関係を推進して、くださっている政治家の先生の方々、日華交流を目的に活動してくださる団体のおかげで現在、日本と中華民國台湾は最も良好で親密な関係になっています。これは国交が無くなった時の亜東親善協会から現在の日本台湾親善協会のこれまでの親善協会の多くの方々が日本と中華民國との親善交流にご尽力とご協力をいただいたことが現在の日本と中華民國台湾の良好な関係を築く基盤となった事は間違いありません。

日本台湾親善協会のこれまでのご尽力、さらなるその関係を強く推進して、くださっている衛藤会長をはじめ、協会の皆様には、華僑を代表いたしまして、心より敬意と感謝を申し上げます。

今後とも私達「日本中華聯合總會」は全国の華僑団体と共に、日本と中華民國台湾の民主主義を大切に、日本と中華民國台湾のさらなる結びつきを目指し、民間での親善交流に努力してまいりますので、皆様には引き続き中華民國台湾にご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

理事会（研修会）開催

〈蔡明耀 駐日副代表が講演〉

本協会は十二月八日夜、東京・元赤坂にある明治記念館で開いた理事会（研修会）に、台北駐日経済文化代表処（駐日代表処）の蔡明耀副代表を講師として迎え、「台湾情勢」をテーマに講演していただいた。

講演の冒頭、蔡副代表は日本から台湾へ合計四二〇万人分のワクチン提供に改めて感謝の意を示した。台湾の近況については、とりわけこの二年間、中国からの圧力がますます大きくなってきたと強調した。

蔡英文總統の就任以来、中国は台湾に対し「一国二制度」を受け入れるよう迫っているが、蔡總統は台湾の自由と民主主義を守るため「断じて受け入れない」と明言していることを紹介した。また、中国からの軍事的脅威についても、蔡總統は国際社会に対し、「政府は慎重に対応する。絶対に中国に屈服しない」との方針を示し、「我々は団結し、今の危機を乗り越えよう」と台湾の国民に呼びかけており、国民も台湾政府に対し信頼感を持っていると説明した。

台日関係については、「台湾にとり一番心強いことは、ワク

チン提供のみならず、世界保健機関（WHO）、国際民間航空機関（ICAO）など、台湾の国際組織への参加や台湾の安全保障に対する日本からの声援だ」と強調した。その上で、今後は台日の友好・親善だけでなく、経済協力、安全保障についての意見交換、技術交流もより一層促進していきたいとの意向を示した。

衛藤征士郎会長は挨拶の中で、台湾海峡・台湾有事の問題についても言及し、「これはまさに日米有事に連なる問題でもある」と述べた。さらに、本協会は揺ぎない姿勢で蔡總統を支持し、台湾を支持していく所存であり、「今後は台湾をスマートパワーで支えていきたい」との考えを示し、この日の出席者らに一致結束し、尽力していくことを呼びかけた。

同夜の会合には、本協会の理監事ならびに顧問の国会議員各位、駐日代表処からは李世丙副代表らも出席した。



「最近の台湾情勢」

台北駐日経済文化代表処

副代表 蔡 明耀

令和三年十二月八日、明治記念館において、日本台湾親善協会の理事会・研修会を開催しました。研修会には、台北駐日経済文化代表処の蔡明耀副代表を講師に迎え、最近の台湾情勢について講演をしていただきました。

蔡明耀副代表の講演の主な内容を次に記載します。



衛藤征士郎会長をはじめ、ご臨席の皆様、こんにちは。現在、謝長廷大使は、公務で台湾に帰っており、一月早々に戻る予定です。謝大使の代わりに一言ご挨拶を申し上げます。この一年間大変お世話になりました。今後とも引き続き、日本と台湾の関係を促進するためにお力添えをお願い

申し上げます。

それでは、台湾の近況・情勢をご説明致します。

この二年間、我々はコロナウイルス (COVID-19) に苦しめられてきました。私たちの生活様式・仕事の内容あるいは人々の交際範囲も大変影響を受けました。全世界でも二億七千万人が罹り、五百万人近くが亡くなりました。日本でも、約七百万人が罹り、約一万八千人が亡くなりました。心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。台湾も大変な状況になりました。今年（二〇二一年）の四月までは台湾は優等生で、死者数七名、感染者数は約八百四十人でした。その中で台湾内での感染者は約百四十人で、約七百人は海外で感染して来た人たちでした。しかし、五月、六月、七月で大変な状況になりました。この三カ月の間に約一万五千人の患者が出ました。死亡率は日本より少し高いです。日本の死亡率は1%くらいですが、台湾は2%くらいです。国民は一時パニックになりましたが、日本からもアメリカからも貴重なワクチンの提供を受け、台湾の国民は安心しました。その中で、一番心配していた事は、中国からの揺さぶりでした。ですので、台湾の国民は日本からのワクチン提供に大変感謝しました。この場をお借りし、改めてお礼を申し上げます。八月から台湾は状況が落ち着きました。八月以降、台湾では感染者が出ることはなくなりました。あるとすれば、海外から帰ってきた人達の中に感染者がいたことくらいです。現在、ワクチンの一回目接種率は80%くらいです。二回

目の接種率は六十%くらいになっています。今年の年末までに接種率は八十%以上になると思います。政府もワクチン接種奨励策を出しています。二回の接種を受けた人に商品券を出していますので、接種会場の行列は長くなっています。これまでに日本政府から約四百二十万回分のワクチンを提供していただきました。アメリカからも、全部で四百万回分のワクチンを提供していただきました。また、ヨーロッパのチェコ、ポーランド、リトアニアからもワクチンの提供を受けました。



この二年間、中国からの圧力が大きくなっています。中国は二〇一六年から、蔡英文政権に対し、経済の圧力、観光客のストップあるいは、色々な方法を使って台湾の国交国を奪うことで、中国の一国二制度を受け入れるよう迫ってきました。けれども、台湾は一国二制度を絶対に受け入れません。一度受け入れたら中国の一部になるからです。台湾の自由と民主主義を守る為に頑張ります。蔡英文総統は「絶対に

受け入れない」と中国に明言しています。

中国からの圧力は一段と大きくなってきました。一番脅威になっているのは、軍事的脅威です。毎日のように軍用機、戦闘機、偵察機などが、台湾のADIZ(航空識別圏)を侵犯しています。戦闘機であれば、三、四分間で台湾の上空に到達します。一時期、多い時には五十七機が一斉に台湾の近辺に現れて演習をしたり、軍艦からの上陸作戦の演習もしています。

つまり、台湾を動揺させるようになっています。けれども、蔡總統は素晴らしいリーダーシップを発揮して、台湾の国民に「我々は慎重に対応する。絶対に中国の圧力には屈しない。挑発もしない。私たちは共に団結して、今の危機を乗り越えよう」と呼びかけました。これは効果がありました。この呼びかけにより、台湾に中国軍用機が来ても国民は安心して毎日の生活を営んでいます。

台湾の経済成長率は、今年(二〇二一年)おそらく六%を超えると予測されています。台湾の国民が、もし不安感を持っているのであれば、経済発展は求めませんし、海外へ脱出したり、財産を海外へ移したりします。けれど、今のところ、そういうことはありません。

中国が簡単には戦争を起こさないようするには台湾なりの工夫が必要です。つまり、中国が台湾に侵攻したら失敗する、あるいはコストがかかり、これは割に合わないと思わせるようにすれば、簡単には侵攻はしないと思います。

このような情勢の中、一番心強いことは、アメリカの支持です。この五年間にトランプ政権の四年間、バイデン政権の一年間、アメリカは莫大な支援を台湾に提供してくれました。一番心強いのは武器の提供です。我々が必要とした武器を売却してくれました。台湾の防衛力を高めるためです。これは抑止力の一つになります。

一方、台湾は経済発展に全力を注いでいます。皆様ご存じのように、半導体に対してです。現在、半導体は世界一の生産能力があります。重要な生産基地は台湾にあります。TSMC（台湾積体回路製造）は、二〇二四年に、熊本に開設する工場の操業開始を予定しています。さらに、アメリカにも工場を開設する予定です。私はつい最近、台湾半導体の強さを勉強しました。世界のトップテンの半導体の会社のうち、台湾は二社あります。一つはTSMC、もう一つはUMC（聯華電子）です。この二社で世界の八〇%の生産量を占めています。TSMCの重要性はアメリカも認めており重視しています。私も先日、山形にある台湾の半導体関連会社（ASEジャパン）を見学に行きました。台湾のASEは、パッケージとテストの工場です。日本の工場の従業員は五百五十人くらいで、来年七百人まで拡充する予定です。事業内容もパッケージとテストです。つまり、ウェーハはTSMCから持って来て、ここで良・不良を選別し、パッケージにします。この会社の売上高は日本円で二兆円、プロフィールは四五%〜五〇%です。TSMCのプロフィールは

五〇%です。半導体設計の分野において、日本のNECやソニーなどはプロフィールは高いです。

熊本は二〇二四年からです。この件についてはご臨席の先生方のお力をお借りし、是非、成功させるようにしたいと思います。

次に、日本と台湾の関係について述べさせていただきます。皆様のお力を賜りまして近年、日本と台湾の関係が益々緊密になっていくことを心から感謝申し上げます。一番心強いことは、ワクチンの提供、それに日本からの応援です。台湾の国際組織への参加（例えば、WHO、ICAO及びGCTFなど）についてお力添えをいただきました。台湾の安全保障に関し、衛藤先生をはじめ多くの方々から、「台湾有事に陥ったら、日本有事にイコールである。日米同時有事である」など心強い発言をいただきました。



これは、中国に対しても一つの警告になっています。「軽挙妄動するな」というメッセージです。安倍晋三元首相も発言されました。これは戦争を抑止するような発言です。このような日米の発言がなければ、中国は「日米は台湾を守るという気持ちがない。中国の台湾進攻を阻止しない」と誤解を与えてしまいかねないのです。皆様のご協力、ご支援が大変に心強いです。日本と台湾の親善友好だけでなく経済協力、安全保障の意見交換、あるいは実質的な交流もお願いしたいと思っております。日頃から、日本台湾親善協会の皆様並びに議員の先生方におかれましては、色々な方面から当代表処にご指導、ご協力をいただいております。引き続き何卒お願い申し上げます。

以上を持ちまして、本日の私の話しを終わらせていただきます。ありがとうございました。



トピックス

☆蔡英文總統新年談話を発表「北京当局に呼びかけ

蔡英文總統は元旦、新年談話を発表され、①引き続き世界へ向かって歩みを進める、②経済発展の動力を維持する、③社会安全システムを強化する、④国家主権を守るの四つの施政方針を示された。

また、「軍事行動は台湾海峡兩岸の立場の違いを解決する選択肢にはならない」。「経済の安定、社会と民心の安定のためにそれぞれが取組めば、平和的手段で解決方法を模索する雰囲気は兩岸に生まれる」。台湾は「圧力を受けても屈せず、支持を得ても冒険はしない」との立場だと強調し、北京当局に対して「情勢判断を誤らず、内部で軍事的冒険主義が広がるのを防ぐべきだ」と呼びかけた。

今年の元旦のテーマは「堅韌台湾・立足世界」強韌な台湾、世界に立つ」で、台湾の強韌な国民と共に課題を克服し、大きく前に進もうと談話を締めくくった。

☆台湾有事における対中国シフトが強化

二〇二一年の中国人民解放軍機による台湾の防空識別圏への侵入は、前年の約三八〇機から二倍超の約九五〇機となり、二〇二二年は、緊張がさらに高まる恐れがあります。

今年秋の共産党大会で、習近平総書記は慣例を破り党書記として三期目に就任することが確実視されており、台湾へのより威圧的な戦術に出ることが予期されます。

中国が行動に出るなら台湾を守ると明言する米国は、東アジアにおける中国との軍事バランスの強化を図り、西太平洋地域で日・豪・新・印・加や英・独・仏・蘭などの他国も巻き込み共同訓練を繰り返して中国を牽制しています。

☆台湾の新型コロナウイルス感染者の現況

台湾のワクチン接種率は、一回目の接種率が約八〇%、二回目目約七〇%となり、警戒レベルは四段階中の下から二番目の二級に下がり継続されており、国内規制は一部緩和され多くの人も見られ、日常が少しずつ戻りつつあります。

しかしながら一日平均三〇人程度で推移していた新規感染者数は、現況では六〇人前後に増加しており、一月十二日には九六人を数えています。

入境者は一般的に入境日+十四日間の検疫期間を要し、旅行目的の渡航は残念ながら難しい状況です。日本国内においてもオミクロン株の影響で新規感染者が急増していますが、一日も早い科学的解明や特效薬の開発などが望まれます。

令和四年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>公益財団法人 日本台湾交流協会</p> <p>理事長 谷崎 泰明</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處</p> <p>代表 謝 長廷</p>	<p>日本中華聯合總會</p> <p>會長 朱 恭亮</p> <p>東京都港区六本木七―五―一〇 電話 〇三(五八四三)〇五八五 FAX 〇三(三四〇八)〇三八二</p>	<p>一般財団法人 台湾協会</p> <p>理事長 小椋 和平</p> <p>東京都新宿区新宿六一―二九―六 エルツ6ビル四階 電話 〇三(三二〇〇)九一―六 FAX 〇三(三二〇〇)九一―八〇</p>
<p>台北駐大阪經濟文化辦事處 福岡分處</p> <p>處長 陳 銘俊</p> <p>福岡市中央区桜坂三一―二―四二 電話 〇九二(七三三四)二八―〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 横浜分處</p> <p>處長 張 淑玲</p> <p>横浜市中区日本大通り六〇 朝日生命横浜ビル二階 電話 〇四五(六四一)七七三七</p>	<p>台北駐大阪經濟文化辦事處</p> <p>處長 向 明德</p> <p>大阪市北区中之島二―三一―一八 中之島フェスティバルタワー一九F 電話 〇六(六二二七)八六二三</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会会長 衆議院議員</p> <p>衛 藤 征士郎</p> <p>東京都千代田区永田町二―二―一 衆議院第一議員会館二―〇一号室 新21世紀政治經濟研究所 電話 〇三(三二五〇八)七六一八</p>
<p>衆議院議員</p> <p>奥 野 信 亮</p> <p>東京都千代田区永田町二―一―二 衆議院第二議員会館一〇〇一号室 電話 〇三(三五〇八)七四二一 FAX 〇三(三五〇八)三九〇一</p>	<p>衆議院議員</p> <p>井 上 信 治</p> <p>東京都千代田区永田町二―二―一 衆議院第一議員会館三一七号室 電話 〇三(三五〇八)七三二八</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 札幌分處</p> <p>處長 粘 信士</p> <p>札幌市中央区北四条四丁目一番地 伊 藤 藤 ビル 五階 電話 〇一一(二二二二)二九三〇</p>	<p>台北駐日經濟文化代表處 那覇分處</p> <p>處長 范 振國</p> <p>那覇市久茂地三―一―五―一九 アルテビル那覇六階 電話 〇九八(八六二二)七〇〇八</p>

令和四年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>衆議院議員</p> <p>根本 幸典</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番二 衆議院第二議員会館九〇六号室 電話〇三(三五〇八)七七七一 電話〇三(三五〇八)七七七一</p>	<p>衆議院議員</p> <p>土井 亨</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番一 衆議院第一議員会館一二〇号室 電話〇三(三五〇八)七四七〇</p> <p>国土交通委員会 与党筆頭理事 自由民主党所有者不明土地等に関する特別委員長 衆議院議員</p>	<p>衆議院議員</p> <p>谷川 弥一</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番二 衆議院第二議員会館一〇一号室 電話〇三(三五〇八)七〇一四 FAX〇三(三五〇六)〇五五七</p>	<p>衆議院議員</p> <p>木村 次郎</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番二 衆議院第二議員会館八〇九号室 電話〇三(三五〇八)七四〇七</p>
<p>衆議院議員</p> <p>三ツ林 裕巳</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番二 衆議院第二議員会館五二二号室 電話〇三(三五〇八)七四一六 FAX〇三(三五〇八)三八九六</p>	<p>参議院議員</p> <p>松下 新平</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番一 参議院議員会館八二四号室 電話〇三(六五五〇)〇八二四 FAX〇三(六五五〇)〇八二四</p>	<p>衆議院議員</p> <p>前原 誠司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番一 衆議院第一議員会館八〇九号室 電話〇三(三五〇八)七一七一 FAX〇三(三五九二)六六九六</p>	<p>衆議院議員</p> <p>古屋 圭司</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番二 衆議院第二議員会館四二二号室 電話〇三(三五〇八)七四四〇 FAX〇三(三五九二)九〇四〇</p>
<p>前参議院議員 弁護士</p> <p>魚住 裕一郎</p> <p>東京都港区虎ノ門二丁目十七番 東京不二法律事務所 電話〇三(三五〇二)六四二一 FAX〇三(三五〇二)六四二三</p>	<p>一般社団法人 アフリカ開発協会</p> <p>会長 矢野 哲朗</p> <p>東京都千代田区紀尾井町四番一 新紀尾井ビル三階 電話〇三(三五一一)八九一一 FAX〇三(三五一一)八九二二</p>	<p>衆議院議員</p> <p>和田 義明</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番一 衆議院第一議員会館四一〇号室 電話〇三(三五〇八)七一七</p>	<p>参議院議員</p> <p>山本 順三</p> <p>東京都千代田区永田町二丁目十一番一 参議院議員会館一〇一九号室 電話〇三(六五五〇)一〇一九</p>

令和四年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>日本華商總會</p> <p>理事長 林冠銘</p> <p>東京都港区六本木七―五―一〇 華商會館四階 電話〇三(三四〇八)四四六八 FAX〇三(三四〇八)〇三八二</p>	<p>中華民國留日橫濱華僑總會</p> <p>會長 張儀 理監事 一同</p> <p>神奈川県横浜市中山山下町一四〇番地 電話〇四五(六八二)二二一四 FAX〇四五(二〇二)二八五五</p>	<p>前衆議院議員 なのはな法律事務所・所長弁護士</p> <p>富田茂之</p> <p>千葉市中央区中央四―二三―一三 電話〇四三(二〇二)八〇七〇 FAX〇四三(二〇二)八〇七二</p>	<p>前衆議院議員</p> <p>秋元司</p> <p>東京都江東区東陽五―三―二二 電話〇三(六六六)一一二二 FAX〇三(六六六)一一二一</p>
<p>株式会社 永島製作所</p> <p>代表取締役 永島剛士</p> <p>石川県羽咋市寺家町夕一番九 電話〇七六七(二二)七〇一一 FAX〇七六七(二二)七〇一一</p>	<p>佐伯印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 平岩照正</p> <p>大分県大分市広瀬町二―三―二二 電話〇九七(五四三)一一二一 FAX〇九七(五五四)四〇二八</p>	<p>後藤泌尿器科皮膚科医院</p> <p>院長 後藤康文</p> <p>岩手県宮古市大通一―三―二四 電話〇一九三(六二)三六三〇</p>	<p>中華民國留日台湾同鄉會</p> <p>會長 蕭玉蘭</p> <p>東京都新宿区西新宿四―二―二〇 電話〇三(六二四)一五二六 FAX〇三(六二七)六一六六</p>
<p>東光株式会社</p> <p>代表取締役 山口裕志</p> <p>東京都渋谷区富ヶ谷二―一―五 電話〇三(五七九)五七九〇 FAX〇三(五七九)五七九〇</p>	<p>友盛貿易株式会社</p> <p>代表取締役 鄭尊仁</p> <p>横浜市中区太田町二―三―一 電話〇四五(二二六)二二九八 FAX〇四五(六六三)二二八九</p>	<p>上北農産加工株式会社</p> <p>代表取締役社長 成田正義</p> <p>青森県十和田市大字相坂字上前川原七六 電話〇一七六(二二)三一三八 FAX〇一七六(二二)八一五三</p>	<p>オリオンビール株式会社</p> <p>取締役会長 嘉手苅義男</p> <p>沖縄県豊見城市字豊崎一―四―一 電話〇九八(九一)五二一九</p>

令和四年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>株式会社 大海</p> <p>代表取締役 並木 久</p> <p>神奈川県相模原市中央区田名七五三十八 電話〇九〇(二五四〇)四四六一</p>	<p>株式会社 五常光産</p> <p>代表取締役 屋島 範光</p> <p>東京都新宿区西新宿七―三―十五 電話〇三(五三三〇)八〇八八 FAX〇三(五三三〇)〇四五五</p>	<p>学校法人 東京国際学園 東京外語専門学校</p> <p>理事長 梶原 康平</p> <p>東京都新宿区西新宿七―三―十八 電話〇三(三三六七)一一〇一 FAX〇三(三三六七)一一〇六</p>	<p>株式会社 ホテル横須賀 ホテルニューポートヨコスカ</p> <p>代表取締役 長尾 和典</p> <p>神奈川県横須賀市小川町二番地一三 電話〇四六(八二八)一一一一 FAX〇四六(八二八)一一一一</p>
<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 岩田 善信</p> <p>東京都港区南青山五―六―一九 サウス青山マンション五〇四号 電話〇三(三三〇九)七八八八 FAX〇三(三三〇九)九四〇五</p>	<p>元 衆議院議員 一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 並木 正芳</p> <p>埼玉県所沢市上安松六二 電話〇四(二九四五)四八九一 FAX〇四(二九四五)八〇六一</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 張 碧華</p> <p>千代田区外神田三―七―七 電話〇三(三二五七)〇〇三二</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>副会長 張 建國</p>
<p>明石 散人</p> <p>中央区築地二―一五―一〇―二〇八 電話〇三(三五四)八八四八 携帯〇九〇(八八七二)四七七一</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>理事 森 康郎</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>業務執行理事 程 金笙</p>	<p>一般社団法人 日本台湾親善協会</p> <p>専務理事 赤松 則宏</p>

令和四年 謹 賀 新 年 (順不同)

<p>あざみ野ローンテニスクラブ 代表取締役 益山 茂 神奈川県横浜市青葉区あざみ野二一九一 電話〇四五(九〇一)九〇一一 FAX〇四五(九〇一)二〇四一</p>	<p>長龍貿易株式会社 クラシックカー輸出入業務 代表取締役 榎本 有里 埼玉県新座市中野二一七一五 電話〇四八(四七七)三五五八 FAX〇四八(四七八)八六六五</p>	<p>有限会社 Tommy's Works 取締役 富田 家彰 東京都練馬区練馬四一五一三二〇五 電話〇三(六七六四)一〇〇〇 FAX〇三(六七六七)六四三四</p>	<p>学校法人電子学園 日本電子専門学校 情報経営イノベーション専門職大学 理事長 多 忠貴</p>
<p>エイチアイインターナショナル株式会社 代表取締役 李ハロルド 東京都新宿区新宿五一七一八 電話〇三(三二〇三)〇一二一 FAX〇三(三二〇三)〇一二九</p>			

事務局だより

新春互礼会の中止

※令和四年新春互礼会を左記の通り開催する予定でしたが、

開催日：令和四年二月三日 午後五時より

場 所：〒一〇二〇〇九三

東京都千代田区平河町2丁目4番3号

ホテル ルポール麹町 麹町会館

TEL 〇三(三三六五) 五三六五

令和四年一月に入り、新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が拡大する状況になり、皆様の安全を第一に考え、誠に勝手ながら、講演会・互礼会の開催を中止することに致しました。ご理解のほどお願い申し上げます。

※新入会員のご紹介

理事

令和三年十一月一日〜令和四年一月十五日

富田 茂之

個人会員

浅見 哲

岩田 憲明



原稿募集

皆様の投稿をお待ちしております。台湾に関するものばかりでなく、身の回りのことなど、ご自由にお寄せ下さい。
紙媒体でも E メール でも事務所宛てにお送りいただければ幸いです。



季 刊 **亜 東** (アジアの架け橋) 令和四年 新春号 (No.80)

発行日 : 令和4年1月15日

発行所 : 一般社団法人日本台湾親善協会

発行人 : 衛藤征士郎

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館別館2階

Tel : 03-3261-6405 Fax : 03-3556-5770

H P : atousinzen@nifty.com

印 刷 : 株式会社サンユー



台湾の翼 チャイナエアラインなら、 うまくいく。

日台の架け橋であるチャイナ エアラインは
日本国内主要15空港から台湾へ最多の直行便を運航
豊富なフライトネットワークから、最適なフライトスケジュールをご提案
充実の法人プログラム
フルサービス航空会社ならお仕事のご利用も安心
あなたのビジネスパートナーにチャイナ エアラインをお選びください



www.china-airlines.com/jp/jp